

01 世界遺産【紀伊山地の霊場と参詣道】

所在地●新宮市・田辺市・橋本市
かつらぎ町・九度山町・高野町・上富田町・
白浜町・すさみ町・串本町・那智勝浦町

熊野信仰の中心地である「熊野三山」、真言密教の根本道場である「高野山」を中心に、三霊場及びそれらを結ぶ「参詣道」から構成される文化遺産。2004年国内で12番目に登録された。2016年10月には、新たに県内22地点が追加登録された。



高野山根本大塔



熊野古道大門坂

02 日本遺産【絶景の宝庫 和歌の浦】

所在地●和歌山市・海南市

刻一刻と変化しながら、四季折々の多彩な風景が美しい和歌の浦。万葉の時代から芸術と文化を育んだ絶景は、紀州徳川家の藩主達にも愛された。干満によって消えては現れる干潟は、今も人々を魅了してやまない。



夕焼けに染まる観海閣 (P16・17参照)



05 日本遺産【1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～】

所在地●那智勝浦町・和歌山市・紀の川市

日本で最初の巡礼である西国三十三所観音巡礼は、日本人が1300年もの間続けてきた自分の人生に向き合う旅である。那智山青岸渡寺が第一番札所、紀三井寺が第二番札所、粉河寺が第三番札所。



那智山青岸渡寺

06 日本遺産【「葛城修験」一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地】

所在地●和歌山市・岩出市・紀の川市
かつらぎ町・橋本市

修験道の歴史が始まったとされる「葛城修験」は、修験者や地域の人々が大切に守り継がれてきた聖地。役行者がはじめて修行を積んだ地であり、世界遺産の吉野・大峯と並ぶ「修験の二大聖地」と称される。



中津川行者堂

07 日本遺産【女性とともに今に息づく女人高野～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～】

所在地●高野町・九度山町

開山より約1100年続いた高野山の女人禁制。しかしそれは女性達の信仰心を妨げるものではなかった。九度山の慈尊院。高野七口に建てられた女人堂。それらをつなぐ女人道。全てに女性達の想いが込められている。



不動坂口女人堂

08 日本遺産【鯨とともに生きる】

所在地●新宮市・那智勝浦町・太地町・串本町

鯨は「一頭で七郷が潤う」といわれるほど莫大な富をもたらした。熊野灘地域の村々の繁栄を支えた。鯨は海の彼方より富をもたらす「えびす」という神であり、捕鯨は人々の生活や心を支える文化だった。



燈明崎と鯨土鈴

09 世界農業遺産【みなべ・田辺の梅システム】

所在地●みなべ町・田辺市

日本一の梅の生産地として有名なみなべ・田辺地域。養分に乏しく礫質で崩れやすい斜面を利用して薪炭林を残しつつ梅林を配置し、400年にわたり高品質な梅を持続的に生産してきた農業システムがそこにあった。



紀州石神田辺梅林と南高梅



03 日本遺産【「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅】

所在地●湯浅町

ユネスコ無形文化遺産に登録され、「和食」の原点ともいえる「醤油」。その醤油醸造発祥の地である湯浅町では、今も昔ながらの製法で醤油が作られており、今もその町並みには歴史が感じられる。



湯浅町湯浅伝統的建造物群保存地区

04 日本遺産【「百世の安堵」～津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産～】

所在地●広川町

安政の津波から村人を救った濱口梧陵の活躍は、小泉八雲によりA Living Godとして世界に発表され、「稲むらの火」の物語として語り継がれている。津波が起きた11月5日は、国連により「世界津波の日」として定められた。



広川堤防

10 日本ジオパーク【南紀熊野ジオパーク】

所在地●新宮市・白浜町・上富田町・すさみ町・那智勝浦町
太地町・古座川町・北山村・串本町

プレートの沈み込みに伴って生じた3種類の大地。それらが作る独特の景観や温暖湿潤な気候がもたらす多種多様な動植物。そこから熊野信仰が生まれ、独特の文化が育まれてきた。地球の膨大な力を感じてみたい。



フェニックス褶曲



橋杭岩

Wakayama Site
人々の想いが宿る和歌山の遺産

世界遺産から7つの日本遺産、
そして世界農業遺産や日本ジオパークまで、
紀伊半島に点在する和歌山の遺産を一挙にご紹介。